

いつも健康であるための地域医療情報誌

観光町

メディカル通信

Vol. 15
2015.9

発行 / 医療法人社団如水会オリーブ高松メディカルクリニック 高松市観光町649-8 TEL087-839-9620(代) FAX087-861-7079
ホームページ <http://www.olive.clinic/>



オリーブ高松メディカルクリニック開院!

NTT西日本高松診療所・予防医療センターの運営を引継ぎ、7月1日より医療法人社団如水会「オリーブ高松メディカルクリニック」としてNTT西日本より独立させていただきました。

「外来診療」「人間ドック・健診」「治験」といったこれまでの予防医療に特化してきた運営方針に変わりありません。

施設の建物、担当医師・看護師等の医療スタッフおよび事務スタッフ等もそのまま継続してスタッフ一丸となつて皆様の診療にあたります。住所も変わりありませんが、メールアドレスは変更されています。それに伴って、ホームページもリニューアルしていますので、是非一度検索してみてください。

最近の設備更改では、エックス線テレビ室(胃透視検査)を増設備し、待ち時間なく受診できるようになりました。また、エックス線撮影装置も最新のものを導入することによって被ばく量を大幅に低減し、さらに安心して検査を受けられるようになりました。

当クリニックは、人間ドック健診施設機能評価認定施設ですが、香川県では4施設が認定されており、我々の施設は四国で一番最初に認定された施設です。そして今年の3月には二度目の更新審査にて高い評価をいただきました。

今後とも高度で良質安心な、温かみのある医療を提供し、明るく健康的な生活を願う地域の皆様一人ひとりにあったサポートをすることで地域医療に貢献していきます。

これからも、「オリーブ高松メディカルクリニック」をよろしく願っています。

医療法人如水会オリーブ高松メディカルクリニック

理 念



高度で、良質安心な、温かみのある医療を提供し、
明るく健康な生活を願う地域の皆様一人ひとりに
合ったサポートをすることで地域医療に貢献する。

基本方針

1. 受診者の一生にわたるライフサポートをすることを旨とする
2. 受診者の選択権、自己決定権を尊重し、患者の立場に立った医療を行う
3. 日々研鑽に努め、世界的視野に立った医療と知識を提供できるよう努力する
4. 受診者に安心、信頼される医療機関であるよう、常に受診者の声を聞くように努める
5. 他の地域医療と連携し、地域医療へ貢献し、地域住民の健康増進のため努力する

施設のご紹介

クリニック (内科・婦人科)

内科外来は、フォローアップ外来を含め、午前2～3診、午後1診体制で運営しています。地域や職域のみなさまの健康維持、増進に役立つ予防医療に特化して医療提供しております。一般外来診療並びに循環器、高血圧、糖尿病・内分泌、腎臓、消化器等の専門診療、また自治体住民健診、特定健診、各種がん検診等も行っております。

健診や人間ドック受診後の2次検査やその後のフォローアップには力を入れており、比較的若い受診者の方がたくさん継続受診されています。

敷地内禁煙としており、禁煙外来も実施しております。

婦人科外来は、ベテラン医師が担当しており、子宮がん検診と乳がん検診が同日に検査できる体制を整えています。



治験センター

治験は新しい薬を創るための社会貢献です。治験に参加することは新しい薬を創る社会貢献です。治験に参加することで患者様への説明時間や検査項目が増えることになるため、当院では治験専門外来を設け、治験参加者の待ち時間を短くするなど、参加される患者様の負担軽減に努めています。ここ数年は常時4～5プロトコルを実施し、10数年間で45件の臨床治験に携わり、約800名以上の患者様に参加いただいています。今では、全国有数の臨床治験施設と評価されるようになってきました。

予防医療センター

予防医療センターでは、人間ドック(2日ドック・1日ドック)、協会けんぽ生活習慣病健診、企業健診等を実施しております。企業等の健康管理や特定保健指導・企業健康相談には主に常勤5名の保健師と管理栄養士が指導にあたり、テラーメイドのサポートを実施しております。

平成17年に「人間ドック・健診施設機能評価」の認定を四国で初めて取得し、本年の3月に2度目の認定更新審査にて高い評価をいただきました(5年ごとに更新必要)。

※人間ドック健診施設機能評価とは、「日本人間ドック学会」が行っている第三者評価事業です。人間ドック健診施設の質の改善活動を促進し、以って受診者のみなさまが安心して質の高い健診を受けられるようにすることを目的として行われています。審査にあたっては“多岐にわたる書面審査”と“専門教育を受けた複数の調査員による厳しい訪問審査”があり、「基本的事項と組織体制」「受診者の満足と安心」「人間ドック健診の質の確保」「運営の合理性」の4つの領域を設定し184からなる評価項目によって審査が行われ、一定基準以上を満たした施設に認定証が授与されます。

新規検査機器 (放射線)の ご紹介

X線テレビ装置

人間ドック・健康診断を受診されたときに待ち時間が長かったのが胃透視検査でした。平成27年3月に2台目が増設設備されたことにより、より多くの受診者様に対応でき、待ち時間短縮につながっています。

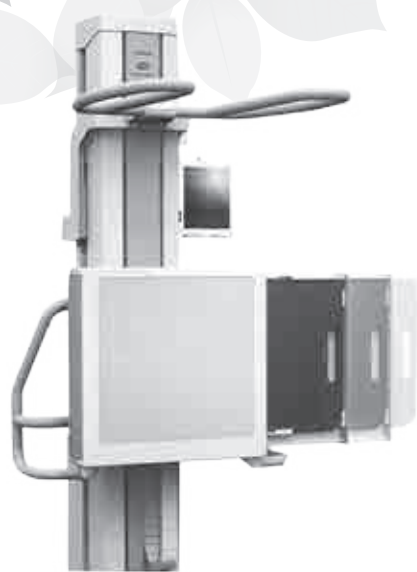


一般X線撮影装置

平成27年7月より「FPD(フラットパネルディテクター)」を搭載した一般撮影装置を導入いたしました。

導入前の装置と比較して被ばく線量が大幅に低減できるようになったため、安心して検査を受けていただく

ことができるようになりました。また高画質になり、より正確な診断のできる画像を提供することができ、病気の早期発見率の向上も期待できるようになりました。



Webサイトリニューアルのお知らせ

施設の名称変更に伴い、Webサイトを全面的にリニューアルしました!
新ホームページアドレス:<http://www.olive.clinic/>



1. デザインを大幅に変更し、各種情報を分かりやすくお伝えできるようになりました。
2. 文字やメニューを大きくし、より見やすくなりました。
3. 当院の情報は「健康診断・人間ドック」「診療部門」「お役立ち情報」「アクセス案内」と分かりやすくメニューの項目をまとめ、より使いやすくなりました。
4. スマートフォンやタブレットにも対応しており、タップがしやすく快適に操作できます。
5. 広報誌メディカル通信に加えて、新しくドコモ四国社内報のコラムを1冊の本にまとめて製本化され非常に好評を頂いた『Dr. フライのひとり言に終わらせず』を追加し、Webサイトからいつでもどこでも読むことができるようになりました。

今後も分かりやすく情報提供が行えるようWebサイトの内容をさらに充実して参りますので、引き続きご愛顧いただきますよう何卒よろしくお願いいたします。

当施設の予防医療センターは、人間ドック健診施設機能評価の認定施設です。

当施設では平成27年3月に人間ドック健診施設機能評価更新のため、日本病院会・日本人間ドック学会の書面審査・訪問審査を受けました。

今回が2回目の更新審査となったのですが、スタッフ一同、日々の実践に基づき、入念な準備期間を取り、シミュレーションも積み重ねて本番を迎えました。

その結果、審査員からは「全般的に高い水準にある」との高評価をいただき、総合の見地から、人間ドック健診施設機能評価の認定（更新）に値するとの判断をいただきました。



人間ドック健診施設機能評価とは

人間ドック健診施設の質の向上、改善活動を促進し、受診者が安心して健診を受けられることを目的とし、日本人間ドック学会と日本病院会が認定を行っています。評価は書面と訪問の2段階で審査が行われます。認定されるためには、次の3領域、161項目の厳しい審査が行われ、基準をすべて満たさなければならぬこととなっています。

主な審査内容

1 施設運営のための基本的体制

当施設の評価コメント

施設の理念と基本方針、受診者の権利等は、明確にされており、管理体制と組織も整っています。職員の倫理規定や服務規程なども確立しており、組織全体の基本体制は、全般的に高い水準にあります。

2 受診者の満足と安心

当施設の評価コメント

レイアウト変更や受付机から仕切りのあるカウンターへの変更など、プライバシーに重点を置いた改善がなされています。

3 人間ドック健診の質の確保

当施設の評価コメント

健診結果の問い合わせに対して医師や保健師、看護師がきめ細かく対応しています。

検査マングラフィ撮影認定診療放射線技師、胃がん検診専門技師の配置など精度の向上が図られており、眼底や画像の読影はダブルチェック体制が構築されています。当日の結果説明は、人間ドック、専門医ならびに認定医を中心に全受診者に実施しています。また、ドックの後、人間ドック健診情報管理指導士の保健師や管理栄養士がフォローする体制が整えられており、受診時に「健診後の連絡票を作成して役立てています。データの集積と解析により数多くの学術論文や学会発表がある。職員の教育や学会発表

表など、健診の質向上への取り組みが日常的に行なわれており、優れていると非常に高い評価を受けています。

予防医療センターより

当施設は平成17年に四国で初めて認定を受け、5年毎に再審査を受けています。日頃より、受診者の皆様が、より一層快適で質の高い人間ドック健診を安心して受けて頂けるようにまた、満足して頂けるように様々な改善を行っております。

その結果、審査内容基準を全て満たし、人間ドック健診施設として優良であると認められています。

私たちは、常に受診者の方々のご意見やご要望に対して耳を傾け、迅速に対応できるように心掛けております。

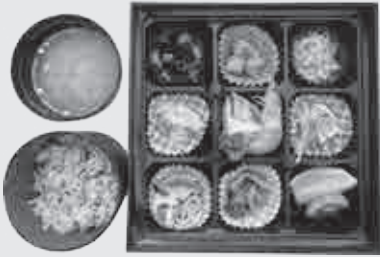
ドック・健診を受けるなら当施設へと行って頂けるよう、今後も、精度の高い検査やサービスの向上に努めてまいります。

皆様のご利用をスタッフ一同心よりお待ちしております。



人間ドック・健診施設機能評価認定

当施設の「お弁当」はヘルシーメニューにて提供しております。



以前は、豪華でボリュームのあるものを選んでましたが、受診者の方から食事についてのご意見もあり、約2年前から、他の優良健診施設の食事を参考に管理栄養士による「身体に良い献立」として現在のお弁当を提供しております。賛否はいろいろあると思いますが、1年に1回くらいは食に気を使う時があっても良いのではないのでしょうか。

その中身はというと、まずご飯は雑穀をブレンドし、量はお茶碗1杯分にしています。主食の量を控えめにし、雑穀をブレンドすることでミネラルや食物繊維を少しでも多く摂れるようにしています。次にタンパク質源としては、魚・大豆・大豆製品を。不足しがちなビタミン・ミネラル・食物繊維の補給源としては、野菜・海藻類をできるだけ多く摂りいれました。いずれも生活習慣病の予防・改善に大いに働いてくれる食材です。一番のこだわりは、噛む回数が自然と多くなるようにしたこと。そうすることで、①肥満予防&ダイエット ②頭が良くなる&認知症の予防 ③唾液の抗菌作用や歯の再石灰化を促す作用で、虫歯や歯周病を予防 ④眼の水晶体を調節する筋肉の老化を防止して視力をアップ ⑤姿勢が正しくなる。⑥しわを予防し若々しい表情作る ⑦唾液の抗菌化作用でがんや心筋梗塞・脳卒中・動脈硬化などの生活習慣病を予防する等の多くの効果が期待できます。この日ばかりは健康に気を使いながら食事をしてみてはいかがでしょうか。

- ① 人間ドック・健診が安心して、円滑に終了できるように、一人ひとり、受付からお帰りまでスタッフがご案内します。
- ② 2階を診察フロア、3階を検査フロアとに分けており、検査・診察の流れが分かりやすくまた、ゆつたりと居心地の良い環境で受診して頂いています。
- ③ 胃透視や胃内視鏡検査においても、安心・安全・安楽な検査を心がけています。疾病の早期発見、早期治療につなげるため、最新の機器を導入したり、楽に検査が受けられる工夫をしています。
- ④ 受診者の方々が、心地良い環境の中で、最高水準の人間ドック健診を受けられるように、各種学会にも参加発表するなど、日々、スタッフ一同研鑽しています。
- ⑤ オプション検査が充実しています。
(39検査項目があります。)
- ⑥ 人間ドック健診後のフォローアップ診療

が出来るよう内科との連携体制を整えています。

フォローアップ外来を

毎火・水曜日午前中に設定し、実施しています。

⑦ 女性の医師・技師によるレディースデイを設けています。

⑧ 保健指導および栄養相談が充実しています。

健康の維持・増進を図るうえで、生活習慣の改善は大きなポイントを占めています。そこで、患者様のおひとりおひとりに適した改善方法を一緒に考え、その実現に向けてサポートさせていただきます。

また、面談での栄養指導以外に、食事指導を希望される方には、個別に食事状況を確認させていただき、その結果をわかりやすく具体的に書面にてアドバイスさせていただきます。

予防医療センター おもてなし ポイント

受験者の方々が居心地よくドック・健診を受けていただくように、様々な工夫をしています。その一部を紹介いたします。



▲予防医療センターの入り口を美しく整え、受診者の方々を気持ちよくお迎えします。



▲スクリーンを配置することにより、検診中のプライバシーに配慮しています。



▲居心地よくお待ちいただけるように男性・女性休憩室を一人かけ用のソファにしています。



▲予防医療センター受付へ誘導するためのウェルカムボードを設置しています。

NTT西日本高松診療所予防医療センターおよび 医療法人社団如水会オリーブ高松メディカルクリニック開設の足跡

昭和36年
(1961年)



高松通信病院を開設のため
の新築工事



(昭和36年以前)
高松通信病院開設前 松房実
(後の二代目院長)と
他関係者

昭和37年
(1962年)



後に公共建築百選にも選ばれる立派な建物が完成



特徴的な円形スロープ
窓の外には建物が何もなかった

平成10年
(1998年)



(平成10年)NTT高松病院が公共建築百選に選出



建築巡礼四国八十八ヶ所に認定

平成9年
(1997年)



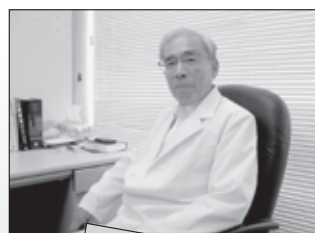
NTT高松病院へ名称変更

平成元年
(1989年)

平成17年
(2005年)

(平成17年)
四国初の日本人間ドック
学会「人間ドック・健診施設機能評価」認定施設となる

NTT西日本高松診療所
治療センターを併設
(平成18年)黒字化達成
NTT西日本ベスト
アワード2006受賞

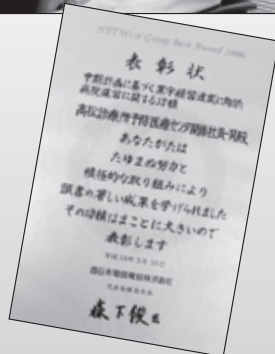


ドコモ四国社内報に
「Dr.フクイのひとりに
終わらせ」連載開始、
平成24年に製本化

平成21年
(2009年)

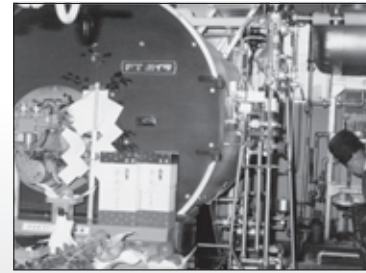
(平成21年)過去8年間の
記録として施設年報発行
人間ドック専門医制度
研修施設の委嘱を受ける

平成19年
(2007年)



昭和54年 昭和47年
(1979年) (1972年)

(昭和47年)
高松通信病院開院10周年記念



(昭和54年)ボイラー火入れ式

昭和56年
(1981年)



(昭和56年)当時の外観

昭和60年
(1985年)



日本電信電話株式会社発足労災保険指定病院承認
(昭和60年)第1回ママさんフェスティバル開催
(以降5回まで開催)



1000人目の赤ちゃん誕生



平成11年
(1999年)

西日本電信電話株式会社発足
NTT西日本
高松病院
名称変更



平成13年
(2001年)

(平成13年)
NTT西日本高松診療所へ
名称
変更
(平成13年)福井所長就任

平成14年
(2002年)

ふれあい広場(ドック健診
フロアー)リニューアルと
開院40周年記念

平成16年
(2004年)

NTT西日本高松診療所
予防医療センターに
名称を変更



福井所長就任当時のビアパーティーの様子

平成24年
(2012年)

(平成24年)
50周年記念誌発行
(平成24年)
NTT高松診療所
予防医療センター開設
50周年を記念して植樹と
記念タオルを作成

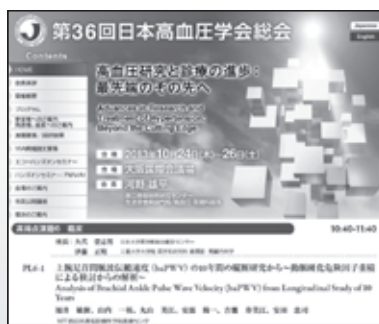


平成25年
(2013年)

第54回日本人間ドック学会学術大会でランチョンセミナー講演およびプレナリセッションの高得点演題として選出同学会・学術大会で平成24年度年間最優秀論文賞の表彰を受ける論文タイトルは「年間医療費削減の観点から人間ドック健診受診の意義」

平成26年
(2014年)

第36回日本高血圧学会総会にて臨床部門の高得点演題に選出される



平成27年
(2015年)

閉院に際して、感謝の集い開催
高松診療所予防医療センターは53年の歴史に幕を閉じ、「オリーブ高松メディカルクリニック」として新たな始まりへ



TOPICS

第49回 日本成人病(生活習慣病)学会にて、 会長賞(優秀演題)に選出される

第49回日本成人病(生活習慣病)学会が、東京都にて平成27年1月10日～11日の2日間に渡って開催され、一般演題より、当施設所長の福井が会長賞(優秀演題)に選出されました。

会長賞受賞は第46回、第47回に続いて3回目の受賞となりました。

●受賞演題

- 第46回 「内臓脂肪/皮下脂肪面積比の経年変化
および生活習慣病関連因子との関係の検討」
- 第47回 「DUALインピーダンス法による内臓脂肪面積測定の
有用性と測定結果解釈の注意点について」
- 第49回 「メタボ対策および動脈硬化進展予防における高感度CRP測定の意義」



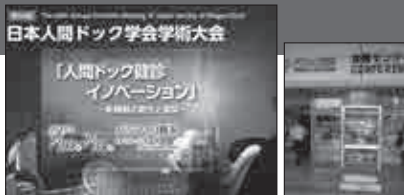
第15回 日本抗加齢医学会総会でシンポジウム講演をする

第15回日本抗加齢医学会総会が、福岡にて5月29日～31日までの3日間で開催された。今回は「Anti-Aging Bliss! 医学、運動、栄養のすてきな連携」をメインテーマに抗加齢医学の幅広い分野での研究発表やシンポジウムが催されました。

第13回総会より始まった日本人間ドック学会との合同シンポジウムも今回で3回目となり、第1回に続いて日本人間ドック学会の学術委員である所長の福井が、今回は「人間ドック健診は一般健康診断よりも医療費削減効果が期待できるか」という演題で、人間ドック・健診受診者の医療費を前向きに追跡した結果から、年間医療費削減の観点からの人間ドック健診の有用性を講演しました。



第56回 日本人間ドック学会学術大会でプログラム委員と ランチョンセミナーでは座長を務める



第56回日本人間ドック学会学術大会は医療法人社団相和会土屋 敦先生が会長を務められ、平成27年7月30日(木)から31日(金)の2日間、神奈川県横浜市のパシフィコ横浜の会場にて開催されました。

院長の福井は、日本人間ドック学会の理事として、ここ数年間、本大会も含め長きにわたり学術大会のプログラム委員会の委員を務めてきました。

今回は、オムロンヘルスケア(株)オムロンコーリン(株)共催のランチョンセミナーに伊賀瀬道也先生(愛媛大学医学部附属病院 准教授/抗加齢・予防医療センター長)を演者にお迎えし、その座長を務めました。

また一般演題では、福井と保健師の林(志保)がそれぞれ「経年的な内臓脂肪測定結果」、「企業健康管理の成果」について当院の成果を発表しました。

編集 後記

オリーブ高松メディカルクリニックとしてスタートし2ヶ月、やっとメディカル通信をお届けすることができました。皆さんとコミュニケーションを深めていく媒体として、健康に関する情報提供や健康診断などの提案をしていきますのでこれからもよろしくお願ひいたします。

季節の変わり目です。体調管理にはお気をつけください。

Health is better than wealth 健康は富に勝る!

